

【 一般撮影 部門】

● 一般撮影検査とは？

一般撮影検査とは、X 線を利用して目的とする体内の臓器や骨などのレントゲン撮影する検査です。この検査は、数ある放射線の検査で最も多く行われています。CT や MRI などの検査より簡便で検査時間が短いため、患者さんへの負担が少なく、緊急時に全体像を素早く把握する必要がある場合にも非常に有効な検査です。

● 装置（使用機器）

当院では、一般撮影室は 3 部屋あります。

一般撮影の中で最も撮影数の多い胸部立位専用の部屋が 1 部屋、どの部位にも対応可能な撮影室が 2 部屋あります。日により待ち時間に差がありますが、可能な限り患者さんの待ち時間が短縮されるように配慮しています。待合に掲示モニターがありますので、順番の目安にご覧下さい。

2024 年 10 月に長尺撮影システムの更新を行い、少ない X 線量で短時間に高精度の検査ができるようになりました。

また、FPD(Flat Panel Detector：平面検出器)は、高精細で感度も高いため、今まで気になるほど写り込むことのなかった、カップ付きの下着やゴムの締め付け、束ねた髪の毛も写りますので、患者さんの更衣・脱衣のご理解とご協力をよろしくお願いします。

【2 番撮影室（胸部立位専用）】

胸部撮影装置

- ・FPD 式デジタル画像システム(立位)

[Canon CXDI 401G (FPD)]

- ・X 線発生装置

[島津製作所 UD150 B-40]

- ・立位台

[大林製作所 ROCKET EVOLUTION2]



- ・オートボイスシステム

[オリオン・ラドセーフメディカル(株) MEDICAL VOICE MV2009-5]

5ヶ国語(日本語・英語・中国語・ポルトガル語・韓国語)

に対応しております。

また、自動音声に伴って、患者さんの見える位置に文字も表示されるようになったため、より呼吸合図がしやすくなり検査に最適な吸気での撮影が可能となりました。



【3 番・5 番撮影室】

骨部撮影装置

- ・FPD 式デジタル画像システム（立位）
[Canon CXDI 401G(立位)]
- ・FPD 式デジタル画像システム（臥位）
[Canon CXDI 401G(臥位)]
- ・無線 FPD 式デジタル画像システム
[Canon CXDI 701G-wireless /
CXDI 801G-wireless]
- ・X 線発生装置
[島津製作所 UD150 B-40]
- ・立位台・寝台
[大林製作所 ROCKET EVOLUTION2/E・JIS]
- ・長尺撮影システム(3 番撮影室)
[CXDI 410C-wireless × 3]



オートポジショニング機構を採用しています。

従来までは、手動で行っていた管球設定を自動で行うことで、画像の標準化が図れるだけでなく、患者さんと離れる時間が少なくなり、検査の安全性と効率性を高められると考えています。

また、寝台に障害陰影とならないマットを敷きました。硬い寝台にそのまま寝るより患者さんの身体的負担が減り、従来よりも痛みが少なく検査を受けていただけるようになりました。

【その他】

ポータブル式 X 線発生装置（5 台）

[島津製作所 MobileDaRt Evolution] [日立製作所 Sirius Starmobile Tiara Airy]

無線 FPD 式デジタル画像システム

[Canon CXDI 410C-wireless]

移動式外科用イメージ（4 台）

[GE OEC9900 Elite] [島津製作所 OPESCOPE ACTENO] [Philips Zenition]

● 検査方法・注意点とお願い

1. 湿布・カイロ、ボタンや金属類が撮影範囲内に無いかを確認します。カップ付きの下着やゴムの締め付けなども写ります。無地のＴシャツなどはスムーズに検査を行うことができます。必要な場合は、脱衣または検査着等に替えて頂きます。
2. 体内埋め込み式治療デバイス、インスリンポンプや持続血糖測定器などを装着されている場合は、故障の原因になる可能性があるため、申告をお願いします。
3. 検査内容や撮影部位によって、立った状態や座った状態、撮影専用台に寝て撮影を行います。何度か体位を変えながら撮影を行うことがあります。

撮影する際に、写真がブレないように息止めの合図を行うことがあります。

これらは、正確な診断を行える写真を撮るために必要なことですので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

4. 撮影後、画像に障害陰影(ボタンなど)やブレなどが無いことを確認して検査終了です。